

「持続可能な次世代養殖システムの開発～サバを中心に～」 シンポジウム

共 催：水産増養殖産業イノベーション創出プラットフォーム（水産研究・教育機構）
JST 未来社会創造事業
場 所：水産研究・教育機構 横浜庁舎 講堂 （横浜市金沢区福浦 2-12-4）
日 時：令和 3 年 8 月 3 日（火）13:30～17:30
参加方法：会場参加は講演者（パネリスト含む）の一部のみ、その他はWEB 参加

企画趣旨

近年、持続可能な開発目標（SDGs）に向けた取組に注目が集まっており、水産業においても高い生産性と両立する持続的生産体系への転換が求められています。そうした中、令和3年度 JST 未来社会創造事業（探索加速型）新規本格研究課題に「日本型持続可能な次世代養殖システムの開発」（研究代表者 中山一郎）が採択されました。ここでは養殖対象種をサバとして新たな試みに挑戦いたします。

一方、国内でサバ養殖（短期間の養殖であるいわゆる「蓄養」も含む）は各地で広く行われており、人工種苗を用いた養殖や刺身としてのサバ需要の高まりで養殖サバが脚光を浴びています。こうしたことから、持続可能な次世代養殖システムの開発と最新のサバ養殖事例等を紹介するとともに、サバ養殖に携わる生産者等にもご参加いただき、持続可能な次世代養殖システムについて意見交換を行います。

プログラム

1. 開会挨拶 13:30～13:35
JST 運営統括 國枝 秀世
2. 趣旨と全体説明 13:35～14:05
水産研究・教育機構 理事長 東京大学 フェロー 中山 一郎
3. 生態系に学ぶ日本型発酵飼料開発 14:05～14:35
京都大学大学院 教授 小川 順
4. 発生、繁殖制御技術を駆使した新たな育種法の開発 14:35～15:05
東京海洋大学 教授 吉崎 悟朗
- 休 憩 15:05～15:15
5. サバ養殖に向けた養殖システムの検討 15:15～15:45
東京大学生産技術研究所 教授 北澤 大輔
6. サバの生殖の仕組みと人工種苗生産の現状 15:45～16:15
九州大学大学院 教授 松山 倫也
7. サバの脂質分析とおいしさについて 16:15～16:45
水産研究・教育機構 開発調査センター 木宮 隆
8. 総合討論 16:45～17:25
座 長：水産研究・教育機構 理事長 東京大学 フェロー 中山 一郎
パネリスト：田鳥水産 代表取締役 横山 拓也
一般社団法人 鯖協会 代表理事 小林 崇亮
全日本さば連合会 広報担当 池田 陽子
9. 閉会挨拶 17:25～17:30
水産研究・教育機構 水産技術研究所 企画調整部門